

令和2年度 後期シンボルプロジェクト

第2回企画会議 —開催レポート—

開催日時：2020.10.3(土)10:00~12:00

場所：zoomおよび市役所

—亀岡市—

引き続きオンラインでの開催！

10月3日（土）令和2年度 第2回目の全体企画会議が行われました。今回もコロナ禍ということで、zoomを活用したオンラインでの開催となりました。

前半は、ゲストトークタイム～コロナ禍で工夫して実施している事例の共有～

コロナにより、それぞれのグループの活動も中止や変更を余儀なくされ、活動の方向性を再考せざるを得ない状況にあり、中には今年度はもう活動できないと諦めてしまう可能性もあります。そこで、他都市でコロナ禍でも工夫して実施している方々をゲストとしてお招きして、工夫次第でコロナ禍でもできることがあるんだと感じていただきたいと思います、大阪府高槻市で活動されている株式会社ガハハの徳田 憲治さんをお招きし、活動の工夫などをお訊ねしました。



SNSの特徴	ユーザー数	拡散性	データ活用
LINE	8000万人	×	×
twitter	4500万人	○	○
Instagram	3300万人	△	△
f	2800万人	△	△

2019年

徳田さんからは、「高槻魂」という音楽フェスを事例に、コロナ禍でイベント活動ができなくなったとき、動画配信は有効だというお話や、録画での動画アップも良いが、生ライブ配信により、臨場感があり、投げ銭などの収益も出しやすいというアドバイスをいただきました。

また、コロナ禍でツイッターの利用が増えているというデータがあるそうで、イベントなどの広報において、SNSの活用は欠かせなく、特にTwitterの活用は必ず取り入れた方がいいというアドバイスをいただきました。

最後に、コロナ後については、イベントも配信も両方やっていく時代が来るので、今のうちから慣れておくことが大事だとお話いただきました。

光明が見えたグループミーティング

コロナ禍で、活動を半ば諦めてしまいそうになっていたグループのメンバーも、徳田さんのお話を聞き、まだ工夫してできることがあるはずだとグループで話し合われました。

グループの中には、独自にTwitterについての勉強会をしようという話があったり、オンラインも駆使して何か企画を検討しようというグループもありました。新しいことが生まれそうな予感。これからの各グループの加速が本当に楽しみです。

（文・写真：岡本 卓也）



まちとしごと総合研究所

まちとしごと総合研究所は、地域づくり・仕事づくりを専門とする民間発・市民発の地域のためのシンクタンクです。